

## 令和2年度電源立地地域対策交付金の活用 (農業試験分析機器等の整備)

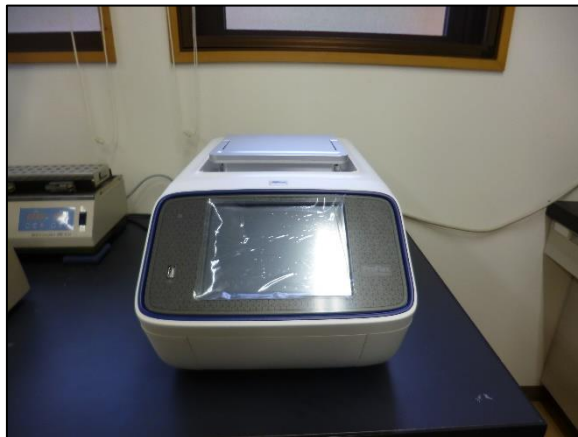
電源立地地域対策交付金は、発電用施設の周辺地域における公共用施設の整備や企業の産業関連技術の振興のための事業に対して交付金を交付することで、発電用施設の整備に係る地元の理解促進等を図ることを目的としています。

令和2年度はこの交付金を活用して、農林水産研究所、みかん研究所において次の3つの機器を導入しました。

### 遺伝子増幅装置 (みかん研究所)

「紅プリンセス」に続くかんきつ新品種の育成の際は、ウイルスフリー化を図り健全種苗を作出する必要があります。

今回導入した機器は、作出した種苗のウイルスの有無を確認するウイルス検定に使用します。



## 人工気象器（農林水産研究所）

農林水産研究所では、イチゴの優良種苗作出を行っています。  
今回導入した機器は、イチゴの優良種苗作出のため、ウイルスフリー化を図る茎頂培養や植物をほ場の環境へ慣らす順化等に使用します。



## 精密施肥・防除ドローン（農林水産研究所）

スマート農業を実現するために、施肥・防除の自動化は主要な課題であり、これを解決する手法としてドローンの活用が考えられます。

今回導入した機器は、ほ場情報・生育情報を取得することができるため、ほ場内のバラツキを是正する追肥試験を正確に行えけるとともに、正確な自動航行による農薬散布試験を実施することが可能となります。

